



# 共同通信



2009年8月20日 156(366号)

日本基督教団 西宮公会教会月報 〒662-0834 西宮市南昭和町10-22  
TEL0798-67-4691 FAX 0798-63-4044、Email : koudou@gamma.ocn.ne.jp  
<http://koudou.jp/> 振替01170-3-4901  
ホームページアドレスが新しくなりました。

時代にふり回されるのではない 自分の人生を語ってほしい、  
あの時 心を躍らせて生きた 自分の人生を語ってほしい、  
後悔に 身をふるわせたこともある 自分の人生を語ってほしい、  
笑い 泣き 歯ぎしりをした 自分の人生を語ってほしい、  
今日 こんな決意をしたという 自分の人生を語ってほしい

## To tell the story 56 『二度目の楽しい思い』

娘たちが共同幼稚園に入園してから、かれこれ8年になりますが、卒園した今も、子どもたちは教会学校に通い、一週間に一度会える友達とおしゃべりに花を咲かせています。“なんか幼稚園のお友達と会うとホッとする～”と話していましたが、卒園しても集える場があることに感謝しています。その時間を大事にしてあげたいと思います。

さて、共同通信に書かせていただくことになり、平々凡々に過ごしてきた人生を振り返ってみることにしました。よろしくお付き合いください。

私は、奈良にうまれてから、大阪・西宮・神戸・垂水と何回か引っ越し

をしました。

父が事業に失敗して大阪の家を売ることになり、一、二か月ほど奈良の親戚の家に預かってもらいました。今から思えば、四人姉妹の私たちを預かることはかなり大変だったと思いますが、叔母さん叔父さんが温かく受け入れてくださいました。中1だった私は、両親の大変さは少しも知らずに、学校を休めることに喜びびでした。

そして、中2で西宮に引っ越してくることになりました。初めての転校、幼稚園以来の男女共学でわくわくしていました。私立の小学校に通っており、男女共学でしたが私の学年は男子が15人ほどで、一度も同じクラ

スになったことはありませんでしたので、西宮での中学・高校生活は毎日が楽しく新鮮でバラ色？でした。

そんな私立の小学校時代ですが、思い出はとても素敵な思い出ばかりで、いつも楽しい経験をさせてもらいました。夜の七夕祭りや・盆踊り、夏の臨海学校にはたくさんのOBが駆けつけて遠泳1キロをサポートしてくれます。(私は500mでしたが...)舟で太鼓をたたいて応援してくれたり歌を歌ってくれたり、ちゃぼちゃぼと波の音の合間から聞こえてきて、しんどいけれど心地よい感覚は今も残っています。

そんな楽しい思い出をいっぱいさせてもらった小学校時代と、今の娘たちの共同幼稚園・教会学校が似ているな～と振り返りながら思いました。私は二度も楽しい思いを、今度はこどもを通して経験させてもらっているのですね。

こどもができてから、地域との関わりも増え、自治会やPTAなど今まで全く関心のなかったところに参加してみて、こどもたちが多くの方々に気にかけてもらっていることを知りました。私の近所のおじいさんは、育成センターから帰ってくるこどもを途中で出迎え送ってくれています。私が知っている限りでは四年くらいになるのですが、もっと前から続けていらっしゃるようです。土曜日にいつもゴミ袋を持って近所や公園のごみを集めている方や私のお姑さんも公園の草刈りや花壇の手入れをしています。気にも留めなかったことが、地域と関わりをもって地域の方の顔が見えてきてはじめて気づきました。

私も、こども時代にたくさんの大人たちに見守っていただいたことを、地域で学校で幼稚園で...たくさん返していけたらと思います。

(松本 奈津子)

# 「ダラエヌールで農作業をしていたときに村人の伊藤さんに対するイメージを聞いたことがある。それはみな口を揃えて、『伊藤は無口で、山のような』という表現をするのだ」

(「アフガニスタンの大地とともに / 伊藤和也遺稿・追悼文集」, 山口敦史)

マルコによる福音書 11 章 15 節で「イエスは宮に入り、宮の庭で売り買いしていた人々を追い出しはじめ、両替人の台や、はとを売る者の腰掛けをくつがえし・・・」と書かれている“宮”“売り買い”“両替人”“はとを売る者”などのことは、イエスが宮を「祈の家」と言ったりする(同 11 章 17 節) 場合のそれとは、著しく異なっているようです。「・・・それから、彼らはエルサレムにきた」(同 15 節) のエルサレムの中心は、“宮(神殿)”です。エルサレムは、ユダヤ教の神殿を中心にしたその為の都市なのです。福音書は、イエスの時代の人々が「過越しの祭には毎年エルサレムに上っていた」こと(ルカによる福音書 2 章 41 節) そして神殿に“宗教税”を納め、犠牲をささげたりしていた様子を伝えています。その過越しの祭にエルサレムの神殿におもむくことになって、その時に振舞ったイエスの事を前述のマルコによる福音書が伝えています。

過越しの祭に毎年エルサレムの上り、宗教税を納め、犠牲を献げるのは、イエスの時代のユダヤ教の人た

ちが当然守るべきことでした。そして、宮、神殿内では宗教税を納めるための両替、犠牲の生きもの(代用品としてのハト)を売るための“台”などが並んでにぎわっていたらしいことも、マルコによる福音書の記述などが伝えています。エルサレムの宮・神殿にやってきたイエスは、両替人や犠牲の生きものを売る人たちの“台”“腰掛け”をひっくり返してしまいます。彼らが過越しの祭を守ることになった由来もその意味も忘れてしまい、形ばかりのことになってしまっていたのが許せなかったようです。更に、その振舞いの後で「『わたしの家は、すべての国民の祈の家となえられるべきだ』と書いてあるではないか」と言ったりする時、形ばかりになってしまっていた、宗教税と犠牲のことをただ批判するだけでない何かが主張されているようにも思えます。

“と書いてあるではないか”と書いているのは、イザヤ書 56 章です。そこでは、だれがどこで何を祈るのかも、少なからず言及されています。「・・・主はこう言われる。あなたが 3

たは公平を守って正義を行え。・・・  
また主に連なり、主に仕え、主の名を  
愛し、そのしもべとなり、すべて安息  
日を守って、これを汚さず、わが契約  
を固く守る異邦人は わたしはこれ  
をわが聖なる山にこさせ、わが祈の  
家のうちで楽しませる、彼らの燔祭  
と犠牲とは、わが祭壇の上に受け入  
れられる。わが家はすべての民の祈  
の家となえられるからである」。イ  
ザヤ書の“すべての民”は、マルコ福  
音書では“すべての国民”(田川建三  
訳は、すべての民族)となっています  
が、肝心なのは、すべて公平と正義を  
求めそれを実践するものは誰であっ  
ても拒まない、というのが“と書いて  
ある”で引き合いに出す、たとえばイ  
ザヤ書56章の主(なる神)の基本な  
のです。しかし、宮・神殿を両替人や  
犠牲の生きものを商う人たちが我が  
もの顔で行き交うことになってしま  
った時、一番大切なそのことが失  
われてしまった、だからイエスがエ  
ルサレムの宮・神殿に足を踏み入れ  
ることになった時、イザヤ書が“・・・  
と書いている”ことがらをもって、  
宮・神殿を批判することになりました。  
イザヤ書を引ながら、宮・神殿  
に受け入れられるにふさわしいのは  
「公平と正義を行う」あなたがた、「ま  
た主に連なり、主に仕え、主の名を  
愛し、そのしもべとなり、わが契約を  
固く守る異邦人」であつたりします。  
ユダヤ教のイスラエルであることが、

無前提に受け入れられていないのは  
もちろんです。イザヤ書の主(なる  
神)は、ユダヤ教とイスラエルから全  
く離れるということはありません  
が、“と書いてある”として、イエス  
が引用する場合は、たとえ異邦人  
であっても神の公平・正義が目指さ  
れるのであれば、“我が聖なる山(エ  
ルサレム)”は拒まないし、“我が祈  
の家で楽しませる”ことの方を選んで  
行きます。更に「それなのに、あなた  
がたはそれを強盗の巣にしてしまっ  
た」と、宮・神殿を取り仕切っている  
祭司長、律法学者たちを断罪します。  
そして断罪することが目的ではなく、  
何よりの主張は“わたしの家は、す  
べての民族の祈の家となえられるべ  
きである”にあります。イザヤ書の  
“わが家”は、主(なる神)の家です。  
イエスが、それを引き合いに出す時、  
“わたしの家”は、主(なる神)の家  
であると同時に、全ての民族のわた  
しの家と限りなく重なり、更にそこ  
はすべての民族の祈の家なのです。  
その場合の祈の家は、宮・神殿とし  
てそそり立っていることも、宗教税  
や犠牲が求められる場所であること  
の必要もありません。イザヤ書が  
言うところの祈の家は、マルコによ  
る福音書のイエスによって、更に  
徹底された祈の家なのです。

(菅澤 邦明)

## すずや便り

学校も夏休みに入り夏真っ盛り！と思いきや、ここ埼玉は意外と涼しい日が続き、夜などは窓を開けていたら寒いこともあります。西宮は暑いんだらうな、みんな元気かな？と思いつつ、海の日連休に帰省しました。「帰省：ふるさとに帰ること」と辞書にあります。我が家にとって親族は一人もいない西宮ですが、今回は宿泊や食事、他にもたくさん声をかけていただきました。素晴らしい友人たちの存在に改めて感謝しつつ、最高に楽しい4日間の帰省となりました。長女が生まれたころは関西に足を踏み入れたこともなかったのに。西宮での出会いがあって今の私があるのだと実感しました。両実家プラス3つ目の帰省先があるなんて、贅沢ですね(^^) 滞在中お世話になった皆さま、ありがとうございました。西宮滞在中、長女のピアノの発表会で「銀河鉄道999」の合奏に親子3人で参加する機会がありました。大好きな曲なのですが、埼玉に帰ってきてからも鼻歌で歌う子どもたちを見て、「やっぱり映像も知らないとな〜」とDVD鑑賞会をすることに。実は小学生のころ、毎週TVを見ていたのです。ハーロックやエメラルダスも、この際知っておいてもらおう(今時そんなのは少数派でしょうか)という魂胆です。TV版で印象に残ってい

る話を見たい気持ちはありましたが、とりあえず「銀河鉄道999 (The Galaxy Express 999)」という劇場版を借りてきました。・・・そして見てびっくり！「メーテルの正体」「機械の体をタダでくれる星のなぞ」等々、他にも漠然としか知らなかった話まできっちりと描かれていて、そういうことだったのか〜と納得しきり。大興奮の母の隣で子どもたちは「重い話だ」と言いながら見ていました。きっと一番楽しんでいたのは私でしょう(笑) 最後のナレーションがすごい、「今、万感の想いをこめて汽笛が鳴る。今、万感の想いをこめて汽車が行く。さらばメーテル。さらば銀河鉄道999。さらば少年の日々。」完璧に大人向けのメッセージですよ。子ども心には全く印象になく、今回初めてそこで立ち止まりました。さらば少年の日々、だったのかぁ〜と。ずっと999の話を考えていたわけではもちろんないのですが、腑に落ちてすっきりした気分になりました。懐かしアニメのDVD観賞、なかなかお勧めです！

( 富家 香麻里 )











## みかん便り

夏休みに入りました。でも、8月半ばまで大学の集中講義です...早く夏休みを満喫したい！

今年の夏は普通に夏祭りに行ったり、普通に花火を見たり、普通に海に遊びに行きたいです。毎年夏はイベントに出演で20ぐらいの祭りで踊っています。でも、半日かけて祭り会場に行き、1時間ぐらい踊るとまた半日かけて家に帰るって流れなんで、屋台で物を買って食べたり、花火を見たりなんて事は出来ません。そんなわけなんで今年は思いっきり夏休みを満喫したいです。今のところは9月に西宮で遊ぶ以外全く予定は無いんで寂しいですけど。海外旅行や一人旅は大学生のうちでないと出来なさそうなんでやってみたいんですけどね。そんな予定を立てる度胸もありません。せめて誰かとバイクで二人旅でもやりたいです。

毎年参加していた共同の能勢キャンプが今年で終わるっていう話を聞いていたので、だいぶテンション落ちていたんですけど、来年もいけるようになったようでよかったです。今年参加できなかった事がホンマに後悔してたんで。能勢キャンプには思い出がいっぱい詰まっています。気付けば13年も

10 あのキャンプ場に通ってました。

副牧師さんも何回変わったことか(笑)今仲良くしている友達も大半はあのキャンプ場で仲良くなったやつらです。たった3日間の出会いでもこんなに長い間続くもんなんですね。あのキャンプ場には感謝でいっぱいです。小学校に入ったばかりだった僕たちも、今は大学生になりました。先生たちもいろんな人と出会いました。園長先生にも白髪が目立ってきたし、孫までいます。13年ってやっぱり長いんですね。

最近眠れない時は昔のことを良く考えます。今村組に入らなかったら今の自分はどうなっていたのか。あの人に会っていなかったらどうなっていたのか。震災が無かったらどうなっていたのか。もう1年遅く生まれていたらどうなっていたのか。考えてもどうにもならないですが、やっぱり今の自分の生き方が1番しっくり来ます。嫌な事もいっぱいあったし、人に迷惑をかけたし、してはいけない事を色々やってきました。でも、後悔だけではないし、これはこれでまあいいです。

先月も書いたんですが、夕張で学んだことに『人との出会いを大切に』ということがあります。これから先いろんな人たちとの出会いを大切にしていきたい。先月はそう思いました。最近改めて考えたら、今まで会った人に自分は作られてきたんやなあって分かってきました。なんかキレイ事みたいに



## 教会学校から

### 《7月の活動報告》

7月5日(日)

かきごおりを食べる

“ほしまつり”直後の日曜日は毎年かきごおりを楽しむのが恒例です。子どもたちが大好きな年に一度の“ほしまつり”の余韻をみんなで味わいました。

7月12日(日)

プール遊び

久しぶりの幼稚園のプールで、大人も子どもも本気になって水遊びをします。

7月19日(日)

キャンプ・ソングを歌う

27日～29日のキャンプに向けて、“歌うキャンプファイヤー”を歌いました。

7月26日(日)

キャンプ・ソングを歌う

引き続き“歌うキャンプファイヤー”で盛り上がりました。

7月27日(月)～29日(水)

共同子ども能勢キャンプ

子ども115人、スタッフ30人が参加しました。

### 《8月の活動予定》

8月5日(水)～8月9日(日)

共同子ども沖縄キャンプ

台風8号の中、子ども13人スタッフ7名が参加しました。

8月2日(日)～23日(日)

教会学校は夏休みです。

8月24日(月)～29日(土)

“子どもの時間・子どもの時代2009”写真展

能勢キャンプと沖縄キャンプの子どもたちの写真展です。

8月30日(日)

おみやげ&おみやげ話パーティ

2009年8月 あんなこと こんなこと...

# 大切な贈り物・津門川 8 3

“ 川そうじ日記 ”



## まいのなんでも案内

こんにちは。東京は涼しいです。比較対象が京都だというのも一因かもしれませんが、私としましては「温暖化？何それ？」と言わんばかりの涼しさです。いやあ京都が盆地で夏は暑く冬は寒いって本当だったんですね……。冷え性の私ですが、もしかして東京では冬も過ごしやすいのか、と期待しております。でも春夏秋冬、四季が大好きな身としては、ここまで過ごしやすいお盆というのはちょっと寂しい（というか不気味？）気がします。あと蝉の鳴き声が違うんですね。東京の蝉はドラマの効果音みたいな声です。違和感。まあそんな感じで夏休みに焦がれつつ、生活しております。先日京都から遊びに来た友達に「最近ハマってることって？」と訊かれて「……仕事？」と答えてしまいましたが。でも別に中毒だとかいうことではなく、好きにやっています。最近はおっぱら『今昔物語集』に夢中です。ちょっと調べようと思ったのですが、読んでみたら面白くて。『今昔物語集』というのはご存知の方もおられましょうが、平安時代の終わりに書かれたとされる短編集で、全部で三十一巻あります。タイトルは、集められた物語がすべて「今は昔」で始められていること

なものが多いですが、うわさ、伝説など、話として面白いため、能などの伝統芸能から現代の小説に至るまで、色々な題材に使われています。中でも有名なのは芥川龍之介の『羅生門』『鼻』『藪の中』などでしょうか。

いやでも面白いんですよ。仏教っぽいところはどうでもいいんですが、日本の滑稽な話を集めた巻ノ二十八というのがありまして、そりゃ芥川も使うよね！と。そういえば随分昔、わたくしがまだ幼稚園にも行っていたかいなかったか、という頃。長期休みに母の実家で、本を読まない寝ないわたくしと兄に読み聞かせるものがなくて困った母が、苦肉の策で『芥川龍之介全集』の中から『芋粥』を読みましたところ、幼い兄妹は「いもがゆ」という言葉の響きがツボにハマったらしく、涙を流して笑い転げたとか。とか、とは書きましたが、わたくし、この出来事、しっかり覚えております。幼いわたくしの中で『芋粥』は長いこと、「おばあちゃまの家にある伝説の面白い話」になっておりました。「食べても食べてもいもがゆ！おもしろい！いもがゆって何かわかんないけど！」という、今考えるとよく分からない理由で。まさか芥川も、そこまで爆笑されると思って書いたわけでもなかるうに。子ども



が何を面白いと感じるかって、本当分かりませんよね。最近も電車の中でお母さんに抱っこされた可愛い女の子にやたら気に入られまして、右肩を触られまくりました。何が気に入ったんだろう……。Tシャツの素材とか？

それはさておき、幼い頃から今昔物語集に親しむことのできる絵本が、9月に出版。ほりかわりまこ作『権大納言（ごんだいなごん）とおどるきのこ』。今昔物語集そのままではなくて、作者がアレンジして作った話ではありますが、絵巻物みたいにあざやかな絵で、秋には良いと思います。最近、狂言や落語の絵本は出てますが、そういや今昔物語集ってそうそうないな、と。高校の古典のテキストに使われる、堅苦しいイメージをもたれ続けているのは勿体ないし、普通の絵本としても楽しめるので。あんまり営業っぽくなると嫌なのでこのへんにしておきますが。ちなみにタイトルとは違い、きのこは踊りません……。わたくしは読んで期待を裏切られました。絶対きのこが踊ると思ったのに。話としては、ちょっと危ないかもしれないきのこも出てきて、マジックなんたら？何かちょっと最近薬物の話多いしむしろタイムリー？なんていう、穿った読み方ができるようになってしまいました。でもとりあえず陰陽師は若かろうが歳だろうが、飄々としててカッコい

いものなんですよ、ということで。是非見かけたらお手に取ってみてくださいませ。

（高橋 舞）

## つとがわ 編集後記

今年の夏のキャンプの予定などが、天候のことであれこれ影響を受けることになりました。能勢の子どもたちのキャンプの2泊3日の間、すっかり太陽が顔を出すということはなく、バンダナの藍染は“後日”ということになってしまいました。5年生以上の子どもたちの沖縄キャンプは、到着したその時から2日間、台風8号の風と雨で、海での遊び、キャンプ場での生活にも大きな影響を受けることになりました。

沖縄のキャンプから帰った9日夜から10日にかけての豪雨で、兵庫県西北部の佐用町などで大きな被害になりました。その佐用町に11、12日に出かけその様子を簡単な報告書にまとめました。自然・天候の急激な変化が豪雨などになったりすると、その力の前で、人の営みはひとたまりもありません。佐用町の豪雨の後の現場で、そんな思いを強くしました。他方、そうして起こってしまった被害の後で、必要で適切な応援が取れないとすれば、その現場で生きる人たちの生活は、厳しいものにならざるを得ないことも、簡単な報告書でまとめることになりました。自然の営みはあなどれませんが、人の営みを人があなどった時のツケはなかなか厳しかったりするのです。

( K )

幼稚園の園庭にオリーブの木があります。今年もたくさん実がついています。秋になると、今は緑色の実も黒くなり、収穫されます。そのオリーブの木の葉っぱに、時々、ハートの形があるのは公同では有名ですが、先日見つけたんです！別の木の葉っぱでも～！それは同じく、園庭にある『まさき』という木です。落ちた葉っぱを集めて掃除をしていると・・・あーっ！！思わず声を上げてしまいました。何故ハート型になるのか？それは葉っぱの中心にある一本の太い葉脈、それが二本のものがある、それぞれに葉っぱの形をつくらうとするから、そうなるみたいなのですが、これってどの葉っぱでもありえるのかしら？また見上げてしまう木が増えました。何かいいことあるかな～

( I )

地方の大学に通っている仲間が、夏休みを利用して地元に戻ってきました。その子を含め高校時代にバンドを組んでいたメンバーで集まりました。

卒業以来5年ぶりに会ったので、懐かしい話しに花が咲きました。今はそれぞれ違う道に進んでいるけれど、昔の仲間の頑張っている話を聞いて、「自分も負けずに頑張るぞ！！」と思えた素敵な時間でした。

( Y )

休みの日はついつい夜更かしをしてしまいます。DVDを観たり、母と喋っていたり…。この夏ペルセウス流星群がよく見える！！と聞いてわくわくしていました。13日の午前3時がピークで、ベランダに出てじーっと見ていると、シューンッ 流れました！蚊にさされてかゆくなり、1つだけ見て断念してしまいましたが、大満足です。街灯が少なければ、もっときれいに見えたのかなあ…。

( N )

肺炎で入退院を繰り返した父、今は落ち着いて病院での日々を過ごしている。すっかり機能が衰え心配したけれど、ベッドから車いすへの移動、立って歩行器を持って2、3メートル歩くなどリハビリも順調に進んでいる。4月から2度、計2ヶ月近くにわたった絶食ですっかり細くなり、計食べ物の幻惑まで見たこともあったみただけで、おかゆをどんぶり1杯のほか、これまた順調に食のリハビリも。誤嚥性肺炎は老年になるといつでも起こりやすらしく気は抜けないらしいが、穏やかな笑顔で堂々と座っている様子を見てとりあえず安心しています。さて歩行のリハビリの補助についた折、手をとるだけで数歩歩くのを誘導したら、理学療法士に「顔負けです。僕のほうがたじたじ」なんて褒められてしまった。どこで学んだかって。いやあとにかく病院に何だかんだと通うことの多かった特にここ十数年、あれこれと見よう見まねで。子どもの怪我もそう、初期対応が大変よかったと特に1学期に何回か、処置した医者が言われたとの報告に、怪我した子どもに気遣いを忘れてはいけないけれど、「そうでしょ、そうでしょ」。介護や救急、これは実地体験あるのみ、何度もそういう体験をさせてもらったのだから賢くならなくては、次に生かさなくてはと思っています。今はまっているドラマは「救急救命」です。

( J )

今月号は7月21日(火)から25日(土)に行われた幼稚園夏の研修会の報告を掲載させて頂きました。